

令和8年度第1回「かごしまの歴史文化講演会」・「貴重資料紹介展」実施要項

1 趣旨

郷土の歴史や人物等に関する質の高い情報を提供するため、郷土に関する専門家による講演を行う。併せて当館所蔵の貴重資料の中から、講演会の内容に関連した資料を展示するとともに、展示内容に関連した図書資料を案内して利用者の生涯学習を支援する。

2 貴重資料紹介展

(1) 日程

令和8年7月17日（金）～令和8年9月1日（火）

(2) 場所

県立図書館 1階玄関ホール

(3) テーマ

『昭和100年ものがたり～鹿児島県立図書館・昭和コレクション～』

(4) 概要

鹿児島で起こった昭和から100年の歩みを、県立図書館所蔵の資料で紹介する。戦時下、戦後復興～高度経済成長、安定成長～昭和終焉、その後平成～令和へと続く現代を、貴重資料で振り返る。また、昭和を平成・令和と比較し、地図・写真や絵はがき等も用いて、人々の暮らしや社会の変化を実感できる来館者参加型の展示とする。

(5) 主な展示資料

『鹿児島市街地図』、『鹿児島大空襲の写真』、『鹿児島市復興計画地図』、『観光図』、『写真に見る戦後50年鹿児島歩み』、『観光案内図』、『博覧会関連』、『国体関連』、『昭和を想起させるもの（レコードなど）』

3 かごしまの歴史文化講演会

(1) 日程

令和8年7月25日（土）13時25分～15時25分

(2) 場所

県立図書館 1階大研修室

(3) 演題

『鹿児島の昭和100年史 ～未来の子どもたちのために～』

(4) 内容

鹿児島県の歩みを昭和の時代を軸に振り返る。戦後復興や高度成長期を経て形成された地域社会の姿を整理するとともに、パブリックヒストリーの視点から参加者との対話を通じて、歴史の共有と再解釈を図る機会とする。経験や教訓を未来へどう継承するかを共に考え、未来の子どもたちに郷土への理解と誇り、持続可能な地域づくりの意識を育むことを目的とする。

(5) 講師

原口 泉 氏（志学館大学人間関係学部教授）

(6) 定員

180名